



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東
 コード番号 9997 URL http://www.belluna.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	89,766	7.2	5,079	△6.2	5,960	17.9	3,545	37.2
24年3月期第3四半期	83,702	5.8	5,417	△4.1	5,056	△6.3	2,584	△35.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,772百万円(30.0%) 24年3月期第3四半期 2,903百万円(△20.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	72	63	—	—
24年3月期第3四半期	51	86	48	84

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
25年3月期第3四半期	108,935	—	63,627	—	58.4	1,308	66	
24年3月期	99,174	—	60,805	—	61.3	1,241	73	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 63,627百万円 24年3月期 60,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00	—
25年3月期	—	7.50	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	119,000	7.9	7,500	1.3	7,500	4.9	4,600	7.1	94	22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期3Q	56,592,274株	24年3月期	56,592,274株
25年3月期3Q	7,972,199株	24年3月期	7,624,219株
25年3月期3Q	48,822,141株	24年3月期3Q	49,844,548株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、復興需要に加え、個人消費が堅調に推移し、一部で景気は緩やかな回復の兆しを見せましたが、欧州債務問題や新興国の景気減速懸念など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き顧客ニーズに合った商品展開、サービスレベルの向上、Eコマースの拡大に努め、新規顧客及びリピート顧客の拡大を図って参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は89,766百万円（前年同期比7.2%増）となりました。一方で営業利益は原価率の上昇などにより5,079百万円（同6.2%減）となりました。また、経常利益は、前年同期に計上した為替差損が差益に転じたことなどにより5,960百万円（同17.9%増）となり、四半期純利益も3,545百万円（同37.2%増）となりました。

[総合通販事業]

アパレルと家庭用品が順調に売上を伸ばしたことにより、売上高は60,304百万円（同6.1%増）となりました。一方でセグメント利益は、原価率の上昇などにより1,791百万円（同15.7%減）となりました。

[専門通販事業]

グルメ事業に加え、化粧品、看護師向け事業が順調に売上を伸ばしたことにより、売上高は17,876百万円（同7.0%増）、セグメント利益は1,398百万円（同21.5%増）となりました。

[ソリューション事業]

大口クライアントの取引縮小があり、封入・同梱サービスは新規先でカバーしたものの、通販代行サービスが苦戦したことにより、売上高は2,888百万円（同4.0%減）、セグメント利益は1,192百万円（同1.0%増）となりました。

[ファイナンス事業]

不動産担保金融事業で営業貸付金残高は減少したものの、国内消費者金融事業と韓国消費者金融事業で営業貸付金残高が伸びたことにより、売上高は2,185百万円（同8.3%増）となりました。一方でセグメント損益は、不動産担保金融事業で貸倒引当金の積み増しをしたことにより、327百万円の損失（前年同期はセグメント利益184百万円）となりました。

[プロパティ事業]

販売用不動産の売却により、大幅な増収増益となり、売上高は1,612百万円（同86.0%増）、セグメント利益は441百万円（同78.1%増）となりました。

[その他の事業]

卸事業を展開しているフレンドリー㈱並びに和装の店舗展開を行っている㈱BANKANが順調に売上を伸ばしたことにより、売上高は5,229百万円（同13.6%増）、セグメント利益は492百万円（同16.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は65,815百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,522百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,953百万円、受取手形及び売掛金が2,404百万円、商品及び製品が3,730百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は43,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,238百万円増加いたしました。これは主に破産更生債権等が576百万円、長期繰延税金資産が433百万円それぞれ減少した一方で、投資有価証券が2,937百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は108,935百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,761百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は35,585百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,867百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が5,857百万円、未払費用が1,008百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は9,722百万円となり、前連結会計年度末に比べ927百万円減少いたしました。これは主にリース債務が618百万円増加した一方で、長期借入金が1,126百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は45,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,939百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は63,627百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,822百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は58.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日の公表から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、新たに設立した㈱ベルーナユナイテッドを連結の範囲に含めております。また、当第3四半期連結会計期間より、新たに設立した㈱テキサスを連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,959	14,913
受取手形及び売掛金	11,493	13,897
営業貸付金	14,273	15,439
有価証券	401	957
商品及び製品	9,848	13,579
原材料及び貯蔵品	997	560
販売用不動産	2,450	2,046
仕掛販売用不動産	858	742
繰延税金資産	586	647
その他	5,670	4,292
貸倒引当金	△1,246	△1,261
流動資産合計	58,292	65,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,258	11,349
機械装置及び運搬具(純額)	109	175
工具、器具及び備品(純額)	350	354
土地	16,429	16,962
リース資産(純額)	249	168
建設仮勘定	190	181
有形固定資産合計	28,587	29,192
無形固定資産		
のれん	230	131
リース資産	875	1,617
その他	2,893	2,469
無形固定資産合計	3,998	4,218
投資その他の資産		
投資有価証券	2,379	5,317
長期貸付金	1,880	1,654
破産更生債権等	3,692	3,115
繰延税金資産	868	434
その他	1,786	1,779
貸倒引当金	△2,312	△2,591
投資その他の資産合計	8,295	9,709
固定資産合計	40,881	43,120
資産合計	99,174	108,935

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,852	20,710
短期借入金	2,560	3,011
未払費用	6,319	7,327
リース債務	490	423
未払法人税等	1,056	1,660
賞与引当金	441	306
返品調整引当金	73	91
ポイント引当金	517	489
その他	1,408	1,565
流動負債合計	27,718	35,585
固定負債		
長期借入金	6,983	5,857
利息返還損失引当金	1,610	1,287
リース債務	371	989
退職給付引当金	276	249
役員退職慰労引当金	219	224
資産除去債務	449	460
その他	739	653
固定負債合計	10,650	9,722
負債合計	38,369	45,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	49,761	52,575
自己株式	△9,456	△9,675
株主資本合計	61,915	64,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	233
為替換算調整勘定	△1,190	△1,116
その他の包括利益累計額合計	△1,110	△882
少数株主持分	0	0
純資産合計	60,805	63,627
負債純資産合計	99,174	108,935

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	83,702	89,766
売上原価	36,720	39,850
売上総利益	46,982	49,916
返品調整引当金繰延差額	25	18
差引売上総利益	46,956	49,898
販売費及び一般管理費	41,539	44,818
営業利益	5,417	5,079
営業外収益		
受取利息	55	112
為替差益	—	212
固定資産税還付金	—	150
その他	517	602
営業外収益合計	572	1,079
営業外費用		
支払利息	270	105
為替差損	537	—
デリバティブ評価損	28	—
その他	96	92
営業外費用合計	933	198
経常利益	5,056	5,960
特別利益		
投資有価証券売却益	—	16
特別利益合計	—	16
特別損失		
投資有価証券売却損	111	—
投資有価証券評価損	51	48
店舗閉鎖損失	72	—
特別損失合計	235	48
税金等調整前四半期純利益	4,821	5,928
法人税、住民税及び事業税	700	2,095
法人税等調整額	1,536	287
法人税等合計	2,236	2,383
少数株主損益調整前四半期純利益	2,584	3,545
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	0	△0
四半期純利益	2,584	3,545

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,584	3,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93	153
為替換算調整勘定	224	74
その他の包括利益合計	318	227
四半期包括利益	2,903	3,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,903	3,772
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	ソリューシ ョン事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	56,730	16,671	2,810	2,018	866	4,604	—	83,702
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89	34	198	—	—	—	△323	—
計	56,820	16,705	3,009	2,018	866	4,604	△323	83,702
セグメント利益	2,124	1,150	1,180	184	247	422	107	5,417

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳206百万円とのれん償却費△98百万円でありま
す。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	ソリューシ ョン事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	60,201	17,876	2,662	2,185	1,612	5,229	—	89,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	102	0	226	—	—	—	△329	—
計	60,304	17,876	2,888	2,185	1,612	5,229	△329	89,766
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	1,791	1,398	1,192	△327	441	492	91	5,079

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳190百万円とのれん償却
費△98百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。